

～9月1日は防災の日、ペットの防災対策に関する調査を実施～

ペットのために防災対策を行っている家庭は 57.6%

- 避難用品として「フード・飲料水」「係留グッズ」「トイレ用品」を準備
- 災害時に有効なマイクロチップ装着率は 11.1%

9月1日は防災の日。アニコム損害保険株式会社（代表取締役社長：小森 伸昭）では、防災の日に合わせ、契約者に対してインターネットを通じたアンケートを実施し、「ペットの防災対策」に関する調査を行いました。

■ ペットの防災対策を行っている家庭は 57.6%

ペットのために防災対策を行っているかを聞いたところ、57.6%の方が行っていると答えました。ペットを飼育しているご家庭では、ペットのための防災対策も一般的なこととなりつつあるようです。

行っている対策のうち最も多かったのは「ワクチン接種、ノミ・ダニ予防」の75.5%で、続いて「鑑札・迷子札を着けている」の37.9%、「避難用品を準備している」の37.1%という結果でした。「ワクチン接種、ノミ・ダニ予防」は、避難所等で多くの犬猫に接するような場合、感染症を予防するために必要不可欠な対策となり、多くの方が実施していました。

避難用品として準備しているものでは、「フード、飲料水」「係留グッズ」「トイレ用品」が上位にあがりました。

「避難所はペットと一緒に入れないので、車に必要なものを準備している」という声も多く聞かれ、家族の一員としてペットと暮らしている家庭が多数を占めることが伺える結果となりました。

ペットのための防災対策として行っていること (複数回答)	人数 (人)	割合 (%)
ワクチン接種、ノミ・ダニ予防を行っている	299	75.5
鑑札、迷子札を着けている	150	37.9
ペット用の避難用品を準備している	147	37.1
ケージ(クレート)、吠えなどのしつけをしている	127	32.1
避難場所、避難経路の確認をしている	90	22.7
預かってくれる場所(友人知人など)の確保	49	12.4
マイクロチップを装着している	39	9.8
一緒に避難訓練をしている	19	4.8

ペットのために準備している もの (複数回答)	人数 (人)	割合 (%)
フード、飲料水	167	42.2
ケージ、リード、ハーネスなどの 係留グッズ	144	36.4
トイレ用品	124	31.3
どうぶつの写真	59	14.9
常備薬	31	7.8
健康状態や性格などを書いた 飼育メモ	22	5.6

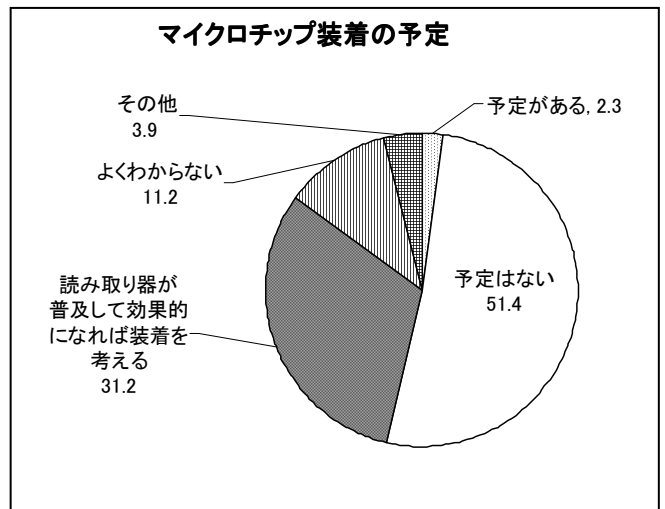
■マイクロチップ装着率

アニコム損保のペット保険「どうぶつ健保」に契約しているどうぶつのうち、マイクロチップを装着しているのは全体の11.1%でした。犬種別では、昨年同様「チワワ」「トイ・プードル」「マルチーズ」など小型犬の装着率が高い結果となっています。

今回のアンケートでは、ペットにマイクロチップを装着していない理由として、半数を超える方が「体に異物を入れることに抵抗がある」と答えており、「あまり必要性を感じない」「読み取り器を設置している自治体、病院の数が多くない」という声も多く聞かれました。

また、「今後もマイクロチップを装着する予定はない」飼い主が半数を占める一方で、「読み取り器などが普及して効果的になれば装着を考える」という飼い主も3割を超えることから、読み取り器の設置が進み、飼い主が必要性を認識することができれば、マイクロチップの普及は更に進むものと考えられます。

ペットにマイクロチップを装着しない理由 (複数回答)	人数 (人)	割合 (%)
体に異物を入れることに抵抗がある	200	50.5
あまり必要性を感じない	128	32.3
読み取り器を設置している自治体、病院の数が多くない	86	21.7
装着方法(注射)に抵抗がある	77	19.4
費用がかかる	69	17.4
費用が高額である	49	12.4
登録などの手間がかかる	33	8.3



マイクロチップ装着率

どうぶつ種	装着率 (%)
フェレット	24.3
犬	11.5
猫	7.8
うさぎ	0.1
平均	11.1

	犬種	装着率 (%)
1位	チワワ	17.1
2位	トイ・プードル	15.8
3位	マルチーズ	14.5
4位	ポメラニアン	13.3
5位	パグ	12.8

2009年7月31日時点のアニコム損保のペット保険「どうぶつ健保」の保有契約(256,074件)を集計

【調査方法】アニコム損保のペット保険「どうぶつ健保」契約者に対し、インターネット上でアンケートを実施

【実施期間】2009年8月12日～8月16日 (有効回答数 396)